

I 令和4年度事業計画書

戦後開拓事業により劣悪な条件の土地に入植した開拓者は、山林原野等を手作業などで開墾して農地を切り拓き、今日までたゆまぬ努力を重ね、我が国農業の範となる大規模経営を展開するに至り、国民への安心・安全な食料供給の一翼を担ってきました。現在、開拓営農は二世、三世に引き継がれ、全国各地で積極的に営農が展開されています。

新型コロナウイルス感染症に伴う全国の緊急事態宣言等は2021年9月末をもってすべて解除されましたが、所得と比べた個人消費の水準は依然として低位にとどまっているほか、各種資材の世界的な供給制約等の影響もあり、輸出や生産の持ち直しに足踏みがみられています。2022年は年初以降のオミクロン株の感染急拡大によりまん延防止等重点措置が発出され、持ち直しつつあった社会・経済活動の停滞が懸念されています。

一方、我が国農畜産業についてみると、酪農家・和牛繁殖農家の減少傾向が続く中で1戸当たりの飼養頭数は増加傾向にありますが、初妊牛・肥育素牛価格は依然として高水準で推移しています。また、新型コロナウイルスの影響による原油価格の上昇等に伴う生産資材や配合飼料価格の高騰が続いており経営を圧迫する大きな要因となっています。牛枝肉価格は2021年秋の宣言解除以降は回復傾向で推移しています。いずれにしても、新たなオミクロン株の感染が急拡大する中であって、酪農・畜産経営は依然として厳しい状況にあります。

また、国外に目を向けると、本年1月に中韓など10か国が参加するRCEP（アールセップ）協定が発効し、欧米とのEPA等につき、農業の国際化が一段と進展しています。RCEP協定においては、畜産物の輸入関税は対象から除外されていますが、今後の動向次第では経営への影響も懸念されるところです。

このような中であって、開拓営農の持続的発展を図り国民に安心・安全な食料を安定的に供給していくためには、中山間地域など厳しい立地条件の下で畜産・酪農、高冷地野菜、果樹等の分野で意欲的に経営に取り組む開拓農家等に対する支援が不可欠です。

このため、当協会においては、これまでの事業の実施状況及び成果を踏まえ、運営の簡素化・合理化を徹底するとともに、事業の着実な実施により開拓営農の持続的発展に資するよう取り組みます。

また、当協会の開拓者支援事業をはじめとする事業を円滑に実施し所期の目的を達成するためには、会員及び関係機関・団体の協力が不可欠であり、本年度も関係機関等と一層緊密な連携を図りながら事業を展開します。

以上の趣旨により、本年度の事業計画を次のとおり定めます。

○ 開拓者支援事業（公益目的事業（公1））

開拓者支援事業は、開拓者の営農の振興を図り国民への食料供給を推進するため、開拓者の営農を支援することを目的とした事業で、研修事業、開拓情報事業、開拓営農振興事業及び調査・研究事業により構成しています。

1 研修事業

研修事業は、開拓者及び開拓後継者の資質の向上・研鑽と相互交流を促進し、農業経営の発展と開拓営農の一層の推進を図り国民生活に不可欠な食料を安定的に供給するため、次により実施します。

(1) 講演会

新型コロナウイルス感染症の蔓延が続いており、その収束が見通せない状況にあることから、現地での開催に代えて、講演の様子をウェブで配信すること等により実施します。

また、講演関係資料をホームページ（HP）に掲載します。

(2) 海外研修

新型コロナウイルス感染症の世界的な蔓延が続いており、その収束が見通せない状況にあることから、海外での現地研修に代えて、コロナ禍や各種経済連携協定発効の下での海外の農畜産業の現状等について、記録媒体等により会員に紹介することにより実施します。

(3) 全国開拓青年・女性研修会

我が国農業・開拓営農の担い手である開拓後継者として全国で開拓営農に取り組んでいる青年・女性の資質向上と相互の連携強化を図るため、全国開拓青年・女性研修会を全日本開拓者連盟及び全国開拓農業協同組合連合会との共催により実施します。

なお、今年度の全国開拓青年・女性研修会は、全国開拓代表者大会の開催に併せて実施します。

開催場所：東京　開催日：令和4年11月（予定）

(4) 全国開拓代表者大会

開拓営農に取り組んでいる開拓者の資質向上と相互の連携強化を図るため、全国開拓代表者大会を全国開拓青年・女性研修会の開催に併せて全日本開拓者連盟及び全国開拓農業協同組合連合会との共催により実施します。

なお、参加者の募集は、会員及び開拓情報を通じて行うこととします。
開催場所：東京　開催日：令和4年11月（予定）

2 開拓情報事業

開拓農家及び開拓組織の相互の連携維持・強化を図り開拓営農のより一層の振興を図るため、全日本開拓者連盟及び全国開拓農業協同組合連合会との共同編集により「開拓情報」を毎月定期に発行し、購読を希望する者に無償で提供するとともにHPに掲載します。

発行に当たっては、国際情勢、農政の動き、農畜産業の技術及び経営に関する情報の提供、優れた開拓農家、開拓地の紹介及び中央・地方の組織の活動状況の紹介等幅広い情報を提供するなど紙面の充実に努めます。

3 開拓営農振興事業

開拓者の農業経営の発展と開拓営農の一層の推進及び国民生活に不可欠な食料の安定供給のためには、開拓営農に取り組んでいる開拓者の農業経営の持続的発展・強化を図ることが重要であることから、次により事業を実施します。

(1) 開拓関係諸行事

当協会が示す開拓関係諸行事事業の中から、会員が選定して実施する開拓営農支援対策及び開拓営農推進対策に対して助成します。

(2) ブロック開拓関係諸行事

当協会が示すブロック開拓関係諸行事事業の中から、ブロック協議会が選定して実施する研修会事業及び先進地視察事業等に対して助成します。

(3) 表彰

開拓者が参加する共進会、品評会等において優秀な成績を収めた者に対して、開催者からの申請により、当協会会長の表彰状のほか副賞を贈呈します。

(4) 開拓肥育牛生産支援

新型コロナウイルス感染症の拡大により肥育牛農家の経営悪化が懸念される中、肥育牛生産に取り組む開拓農家の経営の維持と振興を図るため、助成金を交付します。

4 調査・研究事業

戦後開拓について広く国民の理解を得るため、次により資料の収集・整理を行い情報の提供を行います。

(1) 戦後開拓に関する資料の一般公開

戦後の幾多の苦難を克服し、輝かしい成果を上げるに至った開拓農家及び開拓組織の歩みに関する刊行物や資料を収集、整理・保管し、戦後開拓・開拓営農の理解を深める資料として一般に公開します。

また、会員の協力を得て、開拓の歴史、開拓の精神を記録する開拓記念碑の調査を行います。

(2) 開拓農家の概要の発行

2020年農林業センサスの農林業経営体調査及び農村地域調査における開拓に係るデータの組換え集計を基に「開拓農家の概要」を取りまとめ希望者に無償配布するとともに、概要をHP及び開拓情報に掲載するなどして一般に公開します。

参考一事業体系図

